

IDDNewsletter.....8

2020 August



特集

開校 50 周年記念ディスプレイ

情報デザイン科では、毎年、本科で開催する学校祭「高聳祭」に合わせ、校舎内にインスタレーション作品を展示する「高聳祭ディスプレイ」を行っています。今年度も、例年どおりの内容を当初は計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、その予防対策を講じた内容に変更することにしました。

今年度は、開校 50 周年という節目であり、ディスプレイもそれに関連させた内容とし、旧歯科技工科の資料展示や校内のサイン表示の整備を進めました。

今回は、そのディスプレイの内容についてご紹介します。

開校 50 周年記念ディスプレイ

情報デザイン科では、毎年、本科で開催する学校祭「高聳祭」に合わせ、校舎内にインスタレーション作品を展示する「高聳祭ディスプレイ」を行っています。今年度も、例年どおりの内容を当初は計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、その予防対策を講じた内容に変更することにしました。

今年度は、開校 50 周年という節目であり、ディスプレイもそれに関連させた内容とし、旧歯科技工科の資料展示や校内のサイン表示の整備を進めました。

今回は、そのディスプレイの内容についてご紹介します。

情報デザイン科では、毎年、科目「造形デザイン」の一環として、本科で行われる学校祭に合わせて、校内にインスタレーション作品を制作します。これは、作品をより多くの方々に見ていただく大変よい機会になっていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、学校祭は 9 月に延期・縮小の方向で行うことになりました。インスタレーション作品についても、作業中、人が密に集まる状態となることを前提とした制作・展示を行わず、それに代わる内容・方法で制作を進めることとしました。今年度、本校は、開校 50 周年という節目を迎えており、それに関連させ、「開校 50 周年記念ディスプレイ」として、校内サイン類のリデザインと旧歯科技工科の実習室等がある専攻科棟 4 階の整備に取り組みました。

校内サイン類のリデザインは、開校 50 周年記念に合わせ、

校内の室名札や案内図等のデザインポリシーを変更し、デザインから制作、設置まで行うというものです。主に 2 年生が担当し、作業を進めています。デザインデータの作成は、Adobe Illustrator（7 月号で紹介したグラフィックソフト）を用い、設置する場所を想定しながら、各階の室名や矢印等の記号、配色を検討し、制作を進めました。でき上がったデザインをプロッタで出力した後、設置場所である柱や壁の状況を確認しながら、慎重に貼り付けていきました。カッティングシートを壁に貼り付ける過程においても、空気が入ってしわができる等の失敗がないようにしなければなりませんから、道具や貼り方の工夫や改善をしながら、丁寧な仕上がりを目指しました。今回は専攻科棟の整備を中心に進めましたが、今後、本科棟の校内サイン類のリデザインも進めていく予定です。



専攻科棟4階の整備は、開校50周年記念に合わせ、旧歯科技工科職員室等を利用した歯科技工科の資料展示、並びに、階段から展示会場までを誘導する廊下や壁面の整備を行うというもので、主に専攻科1年生が担当しました。

現在、授業等で使用される機会が少なくなった専攻科4階には、かつて開設されていた専攻科歯科技工科の実習室が多くありました。本校の専攻科は昭和56年に開設されましたが、当時は歯科技工科、デザイン科（情報デザイン科の前身）、被服科の3つの学科がありました。

歯科技工科については、平成19年に閉科し、その幕を下ろすまでに、多くの歯科技工士を養成してきました。今年は、本校開校50周年であると同時に、専攻科開設40周年に当たります。これを機に、眠っていた当時の歯科技工科の教材・教具等を展示し、廊下等も整備し、展示会場として整備しました。内外の方々に専攻科の歴史について知っていただくきっかけになればと思います。

展示品に関しては、本校歯科技工科を修了した本校職員からの助言を得ながら、展示に適したものをカテゴリー分けし

て、陳列、設置作業を行いました。

合わせて廊下の壁面には、色をベタ塗りにしたトレーシングペーパーを幾重にも重ねることで「彩度」の変化を表現した作品を制作しています。加えて、一つずつ丁寧にトレースしたイラストを散りばめたパネル等も廊下に設置しました。色の属性や平面の表現技法等、普段の学習内容を活かし、作品作りを進めています。

4階入口の案内表示の設置から、通路の壁面の作品、そして、歯科技工科の展示会場にいたる空間全体が一つのインスタレーションのようにも見えるかもしれません。今回は、例年にない、相当特別なディスプレイとなりましたが、「会場の作り方」やサイン類の全体計画といった、一味違う要素が学生にとってもよい刺激になったのではないかと思います。

すべての作業の完了には、もう少し時間がかかりそうです。今後も制作を続け、皆様に自信を持って御案内できるよう、完成を目指していきます。

IDDN



Contents

特集

2-3

開校 50 周年記念ディスプレイ

情報デザイン科では、毎年、本科で開催する学校祭「高響祭」に合わせ、校舎内にインステレーション作品を展示する「高響祭ディスプレイ」を行っています。今年度も、例年どおりの内容を当初は計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、その予防対策を講じた内容に変更することになりました。

今年度は、開校 50 周年という節目であり、ディスプレイもそれに関連させた内容とし、旧歯科技工科の資料展示や校内のサイン表示の整備を進めました。

今回は、そのディスプレイの内容について紹介します。

Welcome to Information Design Department!!

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」をお読みいただきありがとうございます。

例年よりも短い夏休みが終わり、授業が再開しました。北海道でもそれなりに暑い日がまだ続いているのですが、学生は、それぞれの課題や目標を持って、精いっぱい取り組んでいます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、様々な学校の行事が中止、延期されるなど、スケジュールの変更を余儀なくされています。2 学期も引き続き感染予防の措置に取り組みながら、学生が、健康に日々の学習に取り組んでいけるよう、スタッフ一同、指導の充実に努めて参ります。



情報デザイン科学科だより

Information Design Department

IDDNewsletter

August 2020 8

IDDNewsletter

August 2020

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒041-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。